

## 目次

巻頭言	1
本間 研一	
「時間治療の最前線」	
1.ワークショップ「時間治療の最前線」オーバービュー	2
藤村 昭夫	
2.時間診断に基づく時間治療	7
久保 豊	
3.血管内皮末梢時計からみた心臓病の治療戦略	11
前村浩二、武田憲彦、森田啓行、今井靖、永井良三	
4.時間薬理学に基づく時間治療 - vitamin D製剤を例として -	16
鶴岡 秀一	
5.生体リズムと投薬タイミングに実証される時間治療の展望	20
大戸 茂弘	
6.ゲノム創薬と時間治療	28
赤羽 浩一	
生物時計説はいかにして生まれたか…エルヴィン・ビュニング (1906-1990) の物語	
1. 日周リズムの内律性と遺伝性	34
田澤 仁	
海外レポート	
カリフォルニア大学・バークレー校 Prof. Irving Zucker 研究室	43
高須 奈々	
第2回チェコ国際昆虫学セミナー 光周性と周期性に参加して	47
富岡 憲治	
第9回日本時間生物学会・名古屋の報告	50
太田 龍朗	
第9回日本時間生物学会シンポジウムⅠ	
「分子時計の解明とその展開 ～分子から個体レベルまで」印象記	51
広田 毅	
第9回日本時間生物学会シンポジウムⅡ	
「遺伝子発現と治療薬からみた体内時計研究」印象記	53
吉信 ゆう子	
第10回 日本時間生物学会学術大会	56
第1回時間生物学世界大会	56
「日本時間生物学会 会誌 Vol.8 NO.2 2002」のお詫びと訂正	58
日本時間生物学会学術奨励賞公募のお知らせ	59
会誌名称に関するアンケート結果について	62
事務局からのお知らせ	63
賛助会員リスト	68
執筆者のプロフィール	69
執筆要領	71